

楓 通 信 . 1 1 3

オジロワシ *Haliaeetus albicilla*



画・丸山 正樹

**日光湯元ビジターセンター
奥日光の情報誌 No.113**

2014. 9. 25

年間購読のお申込みは、氏名・住所・電話番号を明記の上、
郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払ください。
(年途中からでもどうぞ!) 振替 No. 00370-3-7232

一般財団法人 自然公園財団 日光支部
〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内
TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>

年6回発行・一冊100円

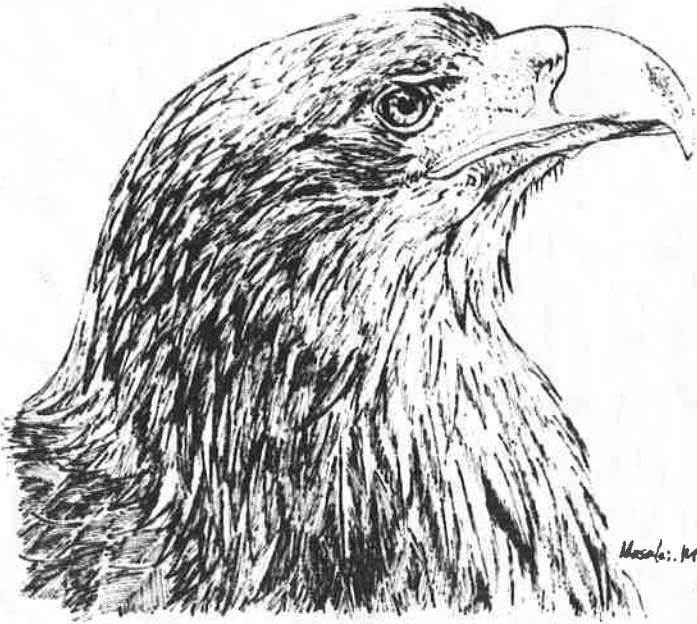
年間購読料1000円(送料・税込)

奥日光生物図説

-日本で観られるワシのなかま-

鋭い眼光や力強い体軀など、様々な魅力を持つワシのなかま。
冬に奥日光に訪れるオジロワシ・オオワシなど、日本で観られるワシをご紹介します。

奥日光で観られるワシ



オオワシ *Haliaeetus pelagicus*

日本最大の鳥。奥日光では、冬の湖で魚を捕らえる迫力の狩りの様子などが観察されている。

濃い黄色の嘴は極端に大きく、とても目立つ。嘴と脚が黄色で体は白黒という大胆な配色が、さすが日本最大の鳥である。

オジロワシ *Haliaeetus albicilla*

冬、中禅寺湖や千手ヶ浜などに訪れる。若鳥の尾羽には褐色斑があり、名前の由来である綺麗な「尾白」になるまで、6年程かかるという。

オオワシの知名度に隠れがちだが、落ち着いた顔立ちや淡い体色など、独特の静かな魅力を持っている。



その他日本で観られるワシ

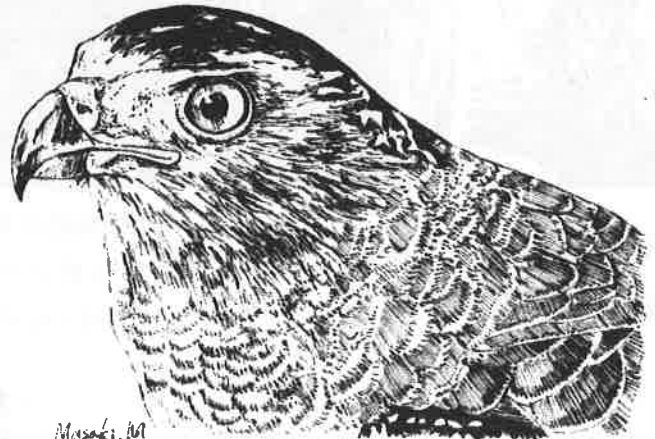


カンムリワシ *Spilornis cheela*

石垣島などに棲息する小柄なワシで、カラスに追われることも。電柱に留まっていたりするなど島では身近な存在。体の大きさや細かい模様からタカ印象も強いが、目の前を悠然と飛び立っていく姿には、独特の重厚さを感じた。

イヌワシ *Aquila chrysaetos*

北海道から九州まで山地に広く棲息するが、個体数は極めて少ない。名前のイヌ(狗)の由来は、オオワシより小さい劣るものという意味や、天狗伝説との関連を指摘する考えなど諸説ある。後ろ首が陽光で金色に輝くことで有名だが、体の深い茶色も美しい。



●その他、稀な冬鳥・迷鳥として日本で観られるワシ・・・クロハゲワシ、カラフトワシ、カタシロワシ、ハクトウワシ

※出現情報や和名・学名は日本鳥類目録改訂第7版に準拠しています。

奥日光 どうぶつ コレクション

in winter

冬になり、動物たちも衣替え！
動物たちの冬の最新ファッションを
ご紹介します！

夏



夏は茶色を基としたファッション

野ウサギさん(夏)：奥日光

Change

冬は夏と違ってかわって
真っ白なファッションに

奥日光の周りの雪の色と同化して
あまり目立たずおしとやかに...



夏



夏は顔周りの濃いめのスタイル

テツさん(夏)：奥日光

Change

夏のシックなスタイルとは変わり
冬は美白ファッション！

クリーム色で全体をまとめた
色合いに変身！



? 保護色とは?

動物たちは冬になると夏毛から冬毛へ衣替えをはじめますが、その時に自然の周りの背景と同じような色に姿を変え、敵に見つからないようにしています。毛の生え変わりの中にも動物たちの生きる工夫が隠されているのです。

■イベント報告

この夏、日光湯元ビジターセンターでは、涼しい奥日光で楽しむ様々な催しものが行われました。

【-夏休み限定-奥日光自然イベント！早朝散策】（夏休み中の土曜と日曜 6:30～7:30）

少し肌寒い位涼しい湯元の朝で、自然をゆったり散策する毎年恒例のこのイベント。今年も宿泊の方、ご家族、ご夫婦、お友達…と朝早い中、様々な方々が集まって下さいました。内容はスタッフによって様々。朝から元気に動き回る鳥を観察したり、まだ早朝で本調子ではない虫達を発見したり、温泉やその周辺に生きている植物たちの不思議をじっくり見たり、避暑に来ているアキアカネを観察したり…と、普段であれば通り過ぎてしまうような自然の一面をみんなでゆったりと楽しみました。



【涼風が吹く いおりだき 庵滝ツアー 第1回】

7月23日（水）参加者18名

日光には48もの滝があるといわれていますが（実際はもっとあります）、今回はその中でも外山沢沿いを登っていく「庵滝」へ挑戦！滝までの道は、シロヨメナの群落をかきわける箇所や岩が滑りやすい場所、木の根が出っ張っている場所など、バラエティにとんだ道。標識も一切ないため、まさに大冒険です。

途中、アズマヒキガエルや避暑にきているアキアカネに出会ったり、きのこを発見したり、沢でハコネサンショウウオを見たり…といきもの達との出会いもたくさんありました。庵滝に到着した時は、滝の近くの涼しさに癒されたり、滝を眺めたり、写真を撮ったり、周辺の植物を見たりと、みなさま思い思いの楽しみ方をされていました。

最後の小田代原では、ノアザミやホザキシモツケなど匂な花、たくさんのチョウや虫たちを見つけながらゆったりと帰りました。今回の参加者さんはパワフルな方ばかり！元気いっぱいの姿に、スタッフも圧倒されました。参加者のみなさま、本当にありがとうございました。ぜひまた一緒に冒険しに行きましょう！

【涼風が吹く いおりだき 庵滝ツアー 第2回】

7月27日（日）参加者14名

「地図には載っていない立派な滝がある」

それだけで十分に好奇心を刺激してくれるのですが、庵滝にはそれだけでは収まらない魅力があります。

東京では35℃を超える真夏の暑さがつらい季節。奥日光の秘境・庵滝ではなんと気温は18℃。まさに涼風が吹く、大迫力のその姿に参加者の皆さんも満足していただけたのではないかと思います。

今回はワイルドなイベントツアーという裏（？）テーマのもと、フィールドで役にたつ地図読み等の小ネタをはさみつつ、無事催行する事が出来ました。

今回は、庵滝ツアーにご参加頂きましてありがとうございました。これからも、ビジターセンターでは様々な滝を巡るツアーを企画しますのでどうぞお楽しみに♪



【奥日光 お手軽ウォーク～湯ノ湖・湯滝へ行ってみよう～】**8月14日（木）参加者2名**

今年の夏は、不安定な天候が続きました。今回の「奥日光 お手軽ウォーク」当日も天候は微妙で、お客様とも相談しながら、行けるところまで行ってみよう、ということでスタートしました。

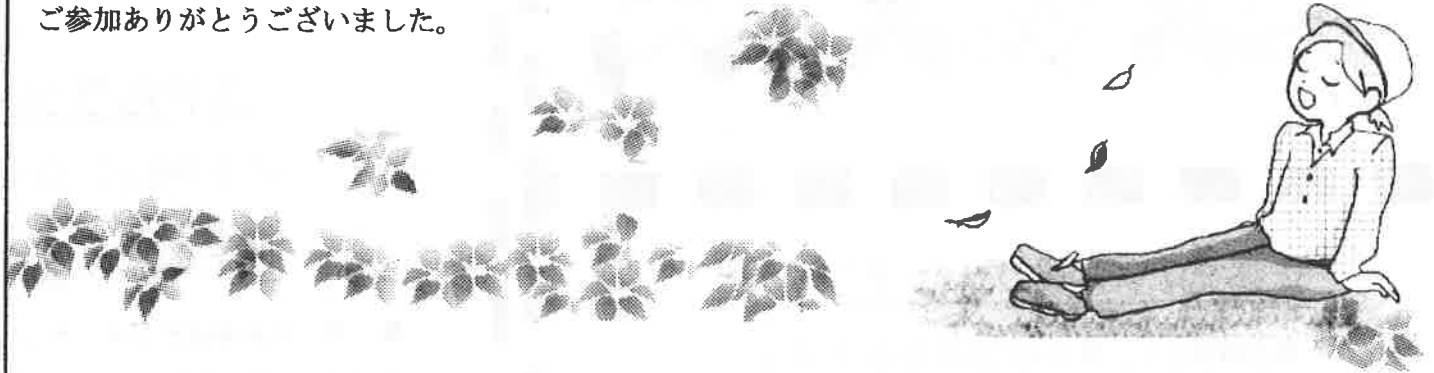
この時季、戦場ヶ原は生命に溢れています。ピンクのお花のホザキシモツケをはじめ、夏の花や秋の花が咲き乱れ、蝶や昆虫たちもせわしなく飛び回っています。そうした花々や生きものとたちとふれあいながら、生命の営みの神秘や工夫、ちょっと視点を変えて見なければ気づけない自然の中の隠れた不思議を、のんびり観察していきました。気づけば予定どおりのコース、湯滝から赤沼まで雨に降られること無く歩ききることができました。お空は晴れ晴れとはいきませんでした。参加者の皆様のお顔は戦場ヶ原の自然とふれあい、晴れ晴れとした表情になっていました。また是非、戦場ヶ原の自然とふれあいにいらして下さい。

【あつまれ山ガール第2段！刈込湖グリーングリーンハイク】 8月24日（日）参加者10名

昨年からはじめた女子だけの、ハイキングイベント。今回は刈込湖に行ってきました。

道中は雨に降られましたが、無事みんなまで到着する事が出来ました（水もしたたるいい女・笑）。

山ガールのみなさま、今度は天気の良い日に、ヒカリゴケやクマの爪跡を見つけながら刈込湖へお越し下さい。ご参加ありがとうございました。

**【中禅寺湖でカヌー体験&プチトレッキングツアー】****9月6日（土）参加者8名**

今季2回目のカヌー体験。今回はお客様も8名と前回よりも参加人数が増え、徐々にではありますが、中禅寺湖でカヌー体験ができるというのが浸透してきたのかなあと嬉しくなりました。

前回同様、栃木カヤックセンターの方にカヌーの乗り方や漕ぎ方などレクチャー頂き、いよいよ中禅寺湖へ。初めての方が大半でしたが、皆さん苦勞しながらも普段では味わえない爽快感や湖上からの眺めを楽しみました。今回もボートハウスから千手ヶ浜までカヌーで移動し、千手ヶ浜でお昼を食べ、プチ散策後、またカヌーでボートハウスへと戻りました。

帰りは中禅寺湖北岸沿いに沿って、冠岩や赤岩など普段間近で見れない自然を堪能しました。心配だった天気もスタート時は晴れで、途中、風が強くなったものの最後まで雨には降られず、皆さんも晴れやかな笑顔で終了となりました。

またカヌーで中禅寺湖を巡りましょう。ご参加頂き、ありがとうございました。



日光湯元ビジターセンター 2014年11月・12月の催し

11月

☆奥日光お手軽ウォーク☆

～湯ノ湖へ行ってみよう～

日時:11月2日(日) 9:00～12:00
 集合:日光湯元ビジターセンター
 人数:15名(先着順)
 参加費:¥500
 コース:ビジターセンター⇄湯ノ湖⇄湯滝

参加
受付中!



事前予約
不要!!

缶バッチ作り

ビジターセンターで作れる缶バッチは大きさ12センチ!
 自由に絵を描いて、あなただけのオリジナルバッチを作ろう!

日時:ビジターセンター開館時間内 随時受付中
 集合:日光湯元ビジターセンター内
 参加費:1個¥300



缶ドルランタン作り

空き缶と好きな絵を使って、自分だけのランタンを作ろう!

日時:ビジターセンター開館時間内 随時受付中
 集合:日光湯元ビジターセンター内
 参加費:1個¥200



☆冬のバードウォッチング☆

鳥を観察して、奥日光の自然を深く知ろう!
 じっくり鳥を観察した事が無い方、初心者大歓迎!

日時:12月7日(日) 10:00～14:00 (9:30～受付開始)
 集合:日光湯元ビジターセンター
 人数:15名(先着順)
 参加費:¥500
 場所:湯元内



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
湯ノ湖 お手軽ウォーク						
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	←		休館日	→		
7	8	9	10	11	12	13
☆バード ウォッチング	←		休館日	→		
14	15	16	17	18	19	20
	←		休館日	→		
21	22	23	24	25	26	27
	休館日		休館日		→	
28	29	30	31			

タイトルに☆のあるイベントは、
2014/10/1(水)より受付開始です。

11・12月の開館時間

【11月】 9:00～16:30 ※休館日無し

【12月】 土日祝のみ9:30～16:30 ※平日休館

【年末年始】 12/27(土)～1/4(日)のみ開館

一般財団法人自然公園財団日光支部

環境省 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>

定員になり次第締切ります。また、実施日の1週間前に受付終了となります。

申込み締切り日以降でも、定員に達していない場合は受付しておりますので、お問合せ下さい。

■スタッフコラム

このコーナーは、毎号違うスタッフが思い思いに書いていきます。今回の担当は、緒方光明。

【スタッフオススメのフィールド図鑑】

アニマルトラック&バードトラックハンドブック

今泉忠明 著 自由国民社 刊



冬というと、夏に比べて生き物の数がぐんと減り少し物悲しいイメージがあるかもしれません。葉っぱも落ちて雪が降り始めると、フィールドに出掛ける回数も減ってきますよね。

しかし、そんな冬でも自然を愛でる方法はあるものです。今回はそんな寒い季節にぴったりのスタッフオススメの一冊を紹介させていただきます。

その名も「アニマルトラック&バードトラックハンドブック」です。

アニマルトラック??というと、なじみのない方もいるかもしれませんね。

アニマル(動物)+トラック(追跡)を合わせた言葉で、「生き物の痕跡」からその行動や生活を想像してみよう!というフィールドの楽しみ方の一つです。特に、奥日光の冬は雪が振る期間も長く、積もる量も多いのでアニマルトラックを行うには最適な条件が整っています。

この図鑑では、おもに雪や泥の上に残された動物たちの痕跡(足跡)を紹介しています。紹介されている足跡は、どれも実物大の大きさになっているので、暖かいお部屋で予習(!?)するときも想像が膨らみまますし、いざフィールドに出掛けた際にも心強い相棒になってくれます。しかも、フィールドでの使用を想定してビニール製のカバーがはじめから付いているので、雨や雪の濡れや汚れにも強い工夫がされています。ページの右にはスケール(メジャー)があるので、一緒に写真を撮れば出会った足跡の記録もより詳しく残すことができますね。

なかなかフィールドまで足を伸ばすのは腰が重い・・・という方も、ぜひ一度手にとって見てください。そして、暖かいコタツに入りながらでも良いのでページをめくってみましょう。「ハンドブック」とタイトルにあるように分厚い本ではないので全体を通して読むにもそれほど時間はかかりません。きっと読み終わるころには、冬の動物たちに逢いたくなっているのではないのでしょうか。

フィールドに出掛ける回数の減る冬の季節は、部屋の中でじっくり図鑑を読んで予習し、(可能であればその図鑑を片手に)実際のフィールドに出掛けて「生き物の痕跡」を探す。

屋内 × フィールド = ワクワク無限大!?

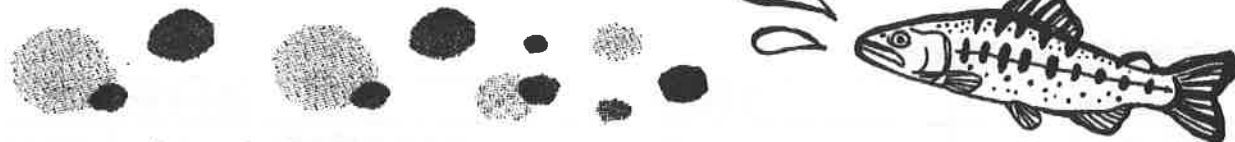
という自然の愛でも楽しいので、ぜひ試してみてくださいね。

ちなみに、今回紹介したこの本は日光湯元ビジターセンターでも販売しています。来館される機会があれば、ぜひ手にとってみてくださいね。

■ニュース

【湯元でマスのつかみどり】

夏休みの恒例イベント「奥日光マスのつかみどり体験」が、8月13日から15日まで湯元の白根沢で開かれました。今年で6回目、奥日光の夏の催しとして、すっかり定着。川をせき止めて行うため、ファミリーで安心して参加できるのが、人気の要因でしょうか。大人も子どもも、歓声を上げてマスを捕まえ塩焼きにして食べながら、短い湯元の夏を惜しむかのように楽しんで下さいました。自分で捕まえた魚を食べることで、命の大切さも感じてくれたかな？



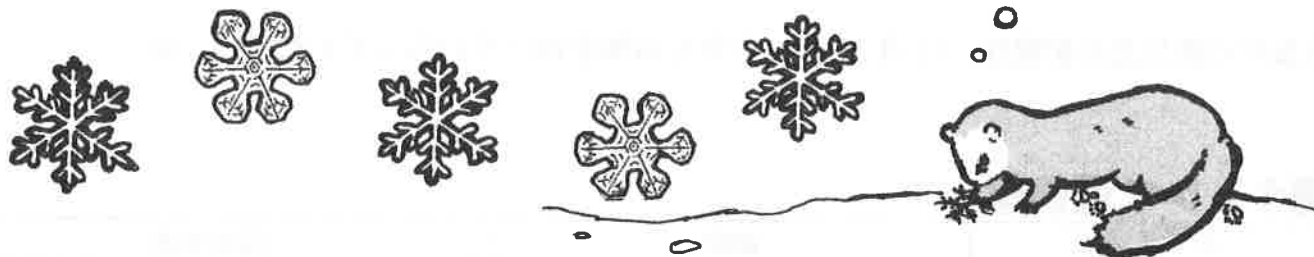
【当センターの写真展が新聞に！】

夏日光湯元ビジターセンターの庭内に、無料休憩所兼「森のギャラリー」があります。小さな建物ですが、多くの皆様に展示室として活用して頂いております。8月3日から17日には、横澤幸一さんの写真展が開かれました。同ギャラリーでの写真展は、なんと9回目。訪れたお客様方は、横澤さんの美しい奥日光の風景写真に魅せられ、横澤さんご夫妻の温かいお話に癒され、大満足。そんな様子が、下野新聞にも掲載されました。10回目が、今から楽しみです！

■ビジターセンター開館日のお知らせ

日光湯元ビジターセンターは11月末まで毎日開館です。

12・1月は、土日祝日、年末年始のみ開館となります。詳細はP. 6～7のカレンダーをご覧ください。



■日光パークボランティアより

【日光パークボランティア主催のイベント報告】

★早朝散策（夏休み中の日曜の6:30～7:30）

開催日	7/20	7/27	8/3	8/24
参加者数	4名	6名	8名	15名

★夕方散策（夏休み中の土曜15:30～16:30）

開催日	7/19	7/26	8/2	8/23
参加者数	3名	4名	6名	4名

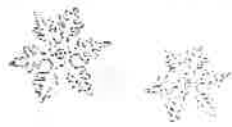
★キャンパー向け自然ふれあいイベント

湯元キャンパーと日光パークボランティアで、和気あいあいとネイチャーゲームを楽しみました。

開催日	7/26	8/10	8/23
参加者数	24名	中止	14名



■交通情報



◆道路の冬期閉鎖◆

※以下の日程は予定です。雪の状況によって毎年変動があるので、期間の前後は事前にご確認下さい。

道路	閉鎖期間予定	問合せ先
中宮祠足尾線 (旧中禅寺湖スカイライン)	11/28	栃木県日光土木事務所 【0288-53-1211】
金精道路	12/25	同上
山王林道 (奥鬼怒林道)	11/末～4/26頃	県西環境森林事務所 【0288-21-1178】

◆各種交通機関の営業期間◆

交通機関	営業期間	問合せ先
低公害バス	～11/30	日光自然博物館 【0288-55-0880】
日光白根山ロープウェイ	～11/9	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】
中禅寺湖遊覧船	～11/30	船の駅中禅寺 【0288-55-0360】

◆融雪剤の散布開始時期◆

年度	金精道路	いろは坂
平成24年	11/22	12/1
平成25年	10/24	11/15
平成26年	10/中旬	10/中旬

※国道120号線の凍結にもご注意ください。

※凍結時期の目安は、金精道路が11月中旬、いろは坂が12月上旬からです。

※ノーマルタイヤでは危険です。スタッドレスタイヤ、もしくはチェーンをご用意下さい。

☆去年の奥日光の初雪は 11月11日。今年もお気を付けていらしてください。☆

■キャンプ場情報

キャンプ場	期間	問合せ先
湯元キャンプ場	～10/31	日光湯元ビジターセンター 【0288-62-2321】
菖蒲ヶ浜キャンプ場	～10/19	奥日光林産興業(有) 【0288-55-0158】
菅沼キャンプ場	～10/19	菅沼キャンプ場 【0278-58-2958】
丸沼オートキャンプ場	～10/19	シャレー丸沼 【0278-58-4300】

■スキー場情報

※雪の状況により、オープンに若干の変動があります。



スキー場	期間(予定)	問合せ先
丸沼高原	11/22～5/6	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】
光徳XC	12/末～3/末	日光アストリアホテル 【0288-55-0585】

■トイレ情報

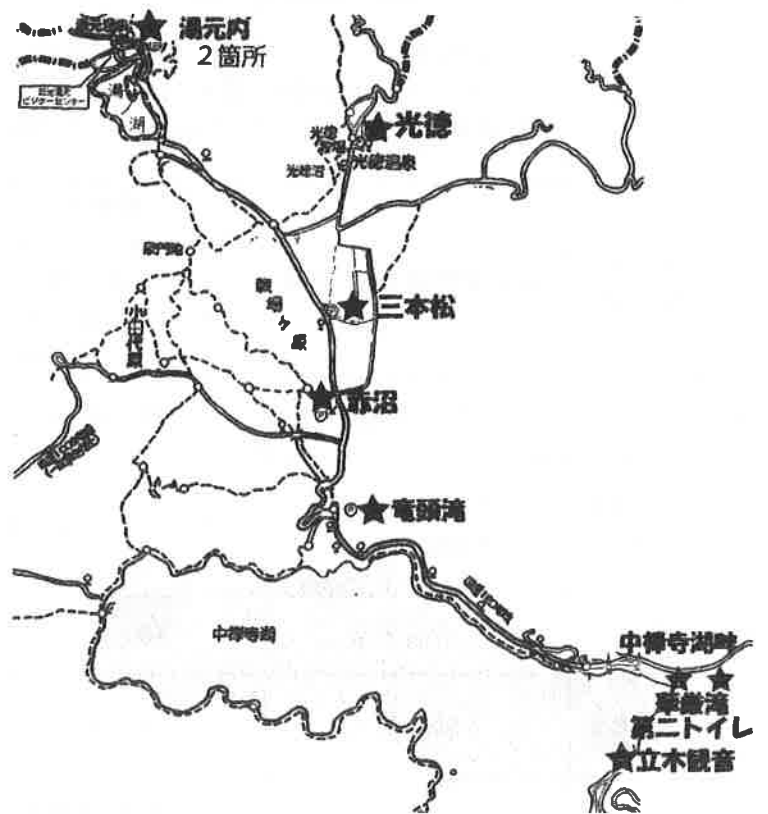
※奥日光では、冬の間、利用できないトイレがあります。

◆冬期閉鎖期間◆

トイレ	閉鎖日 (予定)
二荒山神社東側	12/ 上旬～
西六番園地	
華厳滝第一トイレ (自然博付近)	12/1～
赤沼情報センター	12/1～
小田代原	12/ 上旬～
千手ヶ浜	12/1～
イタリア大使館	12/1～
歌ヶ浜 明智平	12/ 上旬～
湯滝	12/ 上旬～
湯ノ湖畔	11/ 上旬～
湯元公衆トイレ (休暇村付近)	12/1～

※上記の日程は目安です。
雪の状況により変動します。

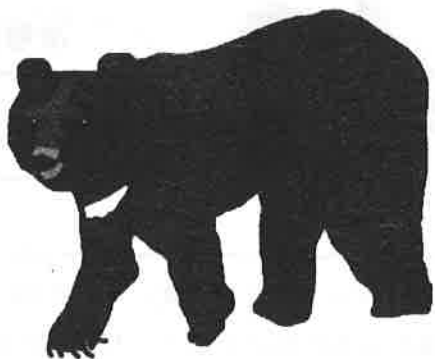
★は冬期でも開いているトイレ



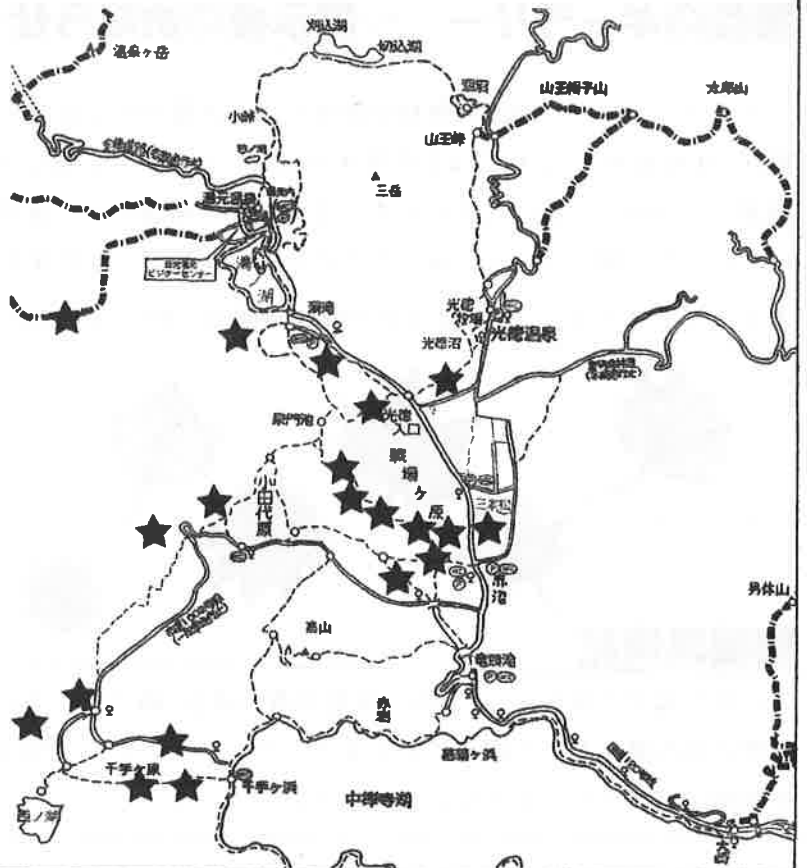
■クマ情報

7月30日～8月31日までの目撃情報は40件。特に7月に入ってから目撃が多く、午前中から昼にかけての時間帯の目撃が増えています。ツキノワグマは積極的に人を襲うことはありませんが、事故を防ぐためには、クマと近い距離で出会わないことが重要です。クマ鈴など音の鳴るものを携帯し、単独行動をしないなどの注意をお願いします。

また、目撃した方は日光湯元ビジターセンターまでお知らせ下さい。



★は7/30～8/31のクマの目撃場所



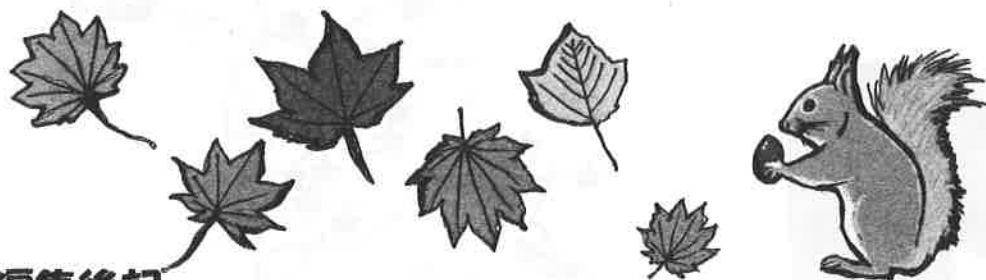
■日光の催し（10月～12月）

日付	催し物	時間	場所	問合せ先
10 / 11 (土)	日光けっこう フェスティバル2014 日光秋の花火大会	昼：10：00～15：00 花火：19：00～20：00 ※雨天時花火は順延	昼：日光運動公園 スポーツ広場 花火：大谷川河畔 (七里・所野)	日光総合支所観光課 【0288-53-3795】
10 / 16 (木) 17 (金)	日光東照宮秋季大祭	流鏝馬 10 / 16 13：30～ 千人行列 10 / 17 11：00～ 13：00～	日光山内表参道	日光東照宮 【0288-54-0560】
10 / 25 (土)	男体山閉山祭	10：00～	二荒山神社中宮祠	二荒山神社中宮祠 【0288-55-0017】
10 / 31 (金) ～2 (日)	ライトアップ NIKKO 2014	17：00～21：00	二社一寺境内	ライトアップ日光 実行委員会 【0288-50-1171】
11 / 9 (日)	三千仏名会	10：00～	興雲律院	興雲律院 【0288-54-0260】
11 / 25 (火)	子供強飯式	10：00～	七里・生岡神社	日光観光協会 【0288-54-2496】
12 / 31 (水)	歳末会	採灯大護摩供 23：45～ 鐘突き (1日) 0：00～	日光山輪王寺	日光山輪王寺 【0288-54-0531】

■森のギャラリー ～展示会のお知らせ～

ビジターセンター併設の無料休憩所では、皆様の作品を展示する“森のギャラリー”が開催されています。現在、9月後半～11月にはまだ空きがございますので、展示をご希望の方は、当センターまでお問合せ下さい。期間中は自由にご覧いただけます。また、展示期間中でも通常通り休憩所としてもご利用出来ます。

なお、冬の間はスノーシューなどのレンタル場所となりますので、森のギャラリー、および休憩所は閉鎖します。ご了承下さい。(11月末まで開館時間 9：00～16：30)



次号は
11月下旬
発行予定です

■編集後記

お盆が過ぎた頃から、すっかり気温が落ち着き、過ごしやすい気候になってきた奥日光。季節の移ろいにつれ、自然の中の発見がまた増えていきます。ビジターセンターでは、秋から冬にかけてゆっくり過ごせるイベントを開催予定。みなさまぜひご参加下さい！

家のバードウォッチング

何という名前?



どうやって生活してる?



日 時：平成26年 12月 7日 (日)
10:00~14:00 (9:30受付開始)
集合場所：日光湯元ビジターセンター
観察場所：湯元内
人 数：15名 (先着順/小学生は保護者同伴)
参加費：¥500

お問合せ・お申込みは…

環境省 日光湯元ビジターセンター

管理者：一般財団法人自然公園財団日光支部 (担当：石井綾)

TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

電話・FAX にて次の事項を上記までお知らせ下さい。

(平成 26年 10月 1日 (水) より受付開始)

- ①イベント名②氏名③年齢④性別⑤住所⑥電話番号(当日連絡のつくもの)⑦集合先までの交通手段⑧この催しを何でお知りになったか⑨前・後泊の有無⑩双眼鏡のレンタルの有無

奥日光 お手軽ウォーク

お手軽ポイント①
参加費¥500♪

お手軽ポイント②
3時間の半日散策♪

お手軽ポイント③
どなたでもOK♪
(先着15名、予約者優先)



湯ノ湖へ
行ってみよう

冬が始まった奥日光。
水鳥が集まる湯ノ湖周辺を散策します♪

平成26年11月2日(日)
9:00~12:00 (8:50 受付開始)

コース: ビジターセンター ~ 湯ノ湖 ~ 湯滝 (往復)

お問合せ・お申込み

環境省 日光湯元ビジターセンター 管理者: 一般財団法人自然公園財団

TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

電話・FAXにて次の事項を上記までお知らせ下さい。※平成26年8月1日(金)より受付開始

- ①イベント名 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号(当日連絡がつくもの)
⑦集合場所までの交通手段 ⑧この催し物を何でお知りになったか ⑨前・後泊の有無

環境省 日光自然環境事務所より

<国立公園制定 80 周年記念カレンダー>

この度、日本で最初に国立公園に指定された8つの場所（阿寒、大雪山、日光、中部山岳、瀬戸内海、雲仙、阿蘇、霧島）が80周年を迎えたことを契機に、国立公園の魅力を国内および海外に発信する取り組みの一環として、環境省職員選りすぐりの12カ所の風景を収めた国立公園カレンダー「2015 Calendar National Parks of Japan」を環境本省で作成し、日光国立公園が1月に選ばれました。

日光以外でも、四季折々の美しい風景を毎月楽しむことができ、国立公園の素晴らしさを存分に実感できるカレンダーとなっており、主に、旅行博等の国際イベント、在外公館及び日本政府観光局（JNTO）を通じて海外に配布することで、海外に向けて、日本の自然風景の魅力を伝え、外国人観光客の増大につなげたいと思っています。

なお、国内でもダウンロードできるよう、9月下旬には環境省サイトに掲載される予定です。